

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第53期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社 栄電子

【英訳名】 SAKAE ELECTRONICS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 染 谷 英 雄

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田二丁目9番10号

【電話番号】 03(6385)7240(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員経理部長 津 田 百 子

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田二丁目9番10号

【電話番号】 03(6385)7240(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役副社長兼執行役員経理部長 津 田 百 子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第52期 第2四半期 連結累計期間	第53期 第2四半期 連結累計期間	第52期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,122,106	2,781,093	5,929,403
経常利益 (千円)	88,118	34,433	134,663
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	69,889	25,548	105,164
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	38,328	32,828	43,507
純資産額 (千円)	2,835,822	2,838,279	2,841,001
総資産額 (千円)	5,405,747	5,101,865	5,124,219
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	13.76	5.03	20.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	52.46	55.63	55.44
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	103,885	200,608	87,924
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	981	6,035	202,847
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	62,959	46,225	74,199
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	929,660	848,882	700,690

回次	第52期 第2四半期 連結会計期間	第53期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.54	1.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績は、売上高2,781百万円(前年同四半期比10.9%減)、営業利益35百万円(前年同四半期比52.4%減)、経常利益34百万円(前年同四半期比60.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益25百万円(前年同四半期比63.4%減)となりました。

前第2四半期連結累計期間と比べ、主に当社主力市場である半導体製造装置関連顧客への売上が減少しましたが、9月には九州地区における新規顧客開拓、既存顧客の深掘り・再開拓等を目的として福岡営業所を新設し、今後の営業体制強化に取り組んでおります。利益面では、売上高の減少のほか、持分法投資損失が増加したこと等から前年同期比で大きく下回る結果となりました。

なお、当社グループは単一セグメントのため、セグメント別の記載は行っていません。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、5,101百万円(前連結会計年度末比22百万円、0.4%減)となりました。

流動資産は2,975百万円で、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。主として受取手形及び売掛金等の減少によるものです。

固定資産は2,126百万円で、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。主として設備等の減価償却等による減少です。

負債は、2,263百万円(前連結会計年度末比19百万円、0.9%減)となりました。

流動負債は2,081百万円で、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。主として未払法人税等と賞与引当金の減少によるものです。

固定負債は182百万円で、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。主として長期借入金の減少によるものです。

純資産は、2,838百万円(前連結会計年度末比2百万円、0.1%減)となりました。主として利益剰余金の減少等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、848百万円(前連結会計年度末比148百万円増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、200百万円の収入(前年同四半期連結累計期間は103百万円の収入)となりました。主として、税金等調整前四半期純利益34百万円と売上債権の減少100百万円、たな卸資産の減少60百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、6百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は0百万円の支出)となりました。主として有形固定資産の取得による支出2百万円と無形固定資産の取得による支出2百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、46百万円の支出(前年同四半期連結累計期間は62百万円の支出)となりました。主として長期借入金の返済による支出10百万円及び配当金の支払35百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,090,000	5,090,000	東京証券取引 所 JASDAQ Q (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,090,000	5,090,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		5,090,000		500,000		372,500

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
染谷 英雄	東京都千代田区	1,234	24.30
染谷 美穂子	千葉県市川市	385	7.59
有限会社酒東商事	東京都文京区湯島 1-10-2	369	7.28
染谷 政一	東京都葛飾区	300	5.91
染谷 崇	千葉県千葉市中央区	300	5.91
扇谷 克	千葉県千葉市花見川区	69	1.37
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町 1-4	63	1.25
佐藤 隆三	千葉県千葉市花見川区	52	1.04
中西 豊子	埼玉県三郷市	52	1.02
栄電子社員持株会	東京都千代田区外神田 2-9-10	43	0.86
計	-	2,870	56.53

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 11,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,077,400	50,774	
単元未満株式	普通株式 1,400		
発行済株式総数	5,090,000		
総株主の議決権		50,774	

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社栄電子	東京都千代田区外神田 二丁目9番10号	11,200		11,200	0.22
計		11,200		11,200	0.22

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、應和監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	900,690	1,048,882
受取手形及び売掛金	1,454,907	1,373,711
電子記録債権	245,542	226,039
商品	378,843	318,323
その他	14,415	9,318
貸倒引当金	562	421
流動資産合計	2,993,836	2,975,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	493,636	483,935
土地	1,158,875	1,158,875
その他(純額)	6,482	7,226
有形固定資産合計	1,658,994	1,650,037
無形固定資産	36,465	38,460
投資その他の資産		
投資有価証券	413,689	425,214
その他	54,217	45,283
貸倒引当金	32,983	32,983
投資その他の資産合計	434,923	437,513
固定資産合計	2,130,383	2,126,011
資産合計	5,124,219	5,101,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,254,971	1,258,044
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	16,017	11,496
賞与引当金	27,678	22,702
その他	71,649	68,767
流動負債合計	2,090,317	2,081,011
固定負債		
長期借入金	55,000	45,000
繰延税金負債	101,792	105,007
退職給付に係る負債	23,936	22,973
その他	12,172	9,594
固定負債合計	192,901	182,574
負債合計	2,283,218	2,263,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	372,500	372,500
利益剰余金	1,821,831	1,811,828
自己株式	4,912	4,912
株主資本合計	2,689,418	2,679,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,941	159,128
為替換算調整勘定	358	265
その他の包括利益累計額合計	151,583	158,863
純資産合計	2,841,001	2,838,279
負債純資産合計	5,124,219	5,101,865

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,122,106	2,781,093
売上原価	2,629,471	2,349,692
売上総利益	492,634	431,401
販売費及び一般管理費	417,304	395,553
営業利益	75,329	35,847
営業外収益		
受取利息	15	37
受取配当金	11,027	11,390
不動産賃貸料	998	-
持分法による投資利益	230	-
役員報酬返納額	4,043	-
その他	1,267	645
営業外収益合計	17,582	12,072
営業外費用		
支払利息	3,666	3,509
不動産賃貸費用	700	-
持分法による投資損失	-	9,518
その他	427	457
営業外費用合計	4,793	13,486
経常利益	88,118	34,433
特別損失		
固定資産除却損	-	35
特別損失合計	-	35
税金等調整前四半期純利益	88,118	34,398
法人税、住民税及び事業税	19,966	9,122
法人税等調整額	1,737	273
法人税等合計	18,229	8,849
四半期純利益	69,889	25,548
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,889	25,548

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	69,889	25,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,949	7,187
持分法適用会社に対する持分相当額	611	92
その他の包括利益合計	31,561	7,280
四半期包括利益	38,328	32,828
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,328	32,828
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,118	34,398
減価償却費	12,338	11,320
貸倒引当金の増減額(は減少)	771	141
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,681	963
固定資産除却損	-	35
長期未払金の増減額(は減少)	56	1,894
賞与引当金の増減額(は減少)	4,309	4,976
受取利息及び受取配当金	11,043	11,427
支払利息	3,666	3,509
為替差損益(は益)	2	156
持分法による投資損益(は益)	230	9,518
売上債権の増減額(は増加)	163,121	100,699
たな卸資産の増減額(は増加)	99,800	60,519
仕入債務の増減額(は減少)	32,528	3,073
未払消費税等の増減額(は減少)	1,683	392
その他の流動資産の増減額(は増加)	10,912	5,193
その他の流動負債の増減額(は減少)	2,406	3,162
その他	44	300
小計	115,300	205,766
利息及び配当金の受取額	11,043	11,417
利息の支払額	3,731	3,595
法人税等の支払額	18,726	12,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,885	200,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	100,000
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	435	2,000
無形固定資産の取得による支出	-	2,394
投資有価証券の取得による支出	511	984
その他	35	656
投資活動によるキャッシュ・フロー	981	6,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	-
長期借入金の返済による支出	10,000	10,000
リース債務の返済による支出	2,171	673
配当金の支払額	50,787	35,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,959	46,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	156
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	39,942	148,191
現金及び現金同等物の期首残高	889,718	700,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	929,660	848,882

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形及び電子記録債権が、前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	50,512千円	千円
電子記録債権	7,170千円	千円
支払手形	113,700千円	千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
給与・賞与手当	201,902千円	197,669千円
賞与引当金繰入額	31,233千円	22,702千円
退職給付費用	15,896千円	15,254千円
賃借料	17,215千円	18,110千円
減価償却費	12,200千円	11,320千円
貸倒引当金繰入額	187千円	141千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
現金及び預金	929,660千円	1,048,882千円
預入期間が3か月を超える定期預金	千円	200,000千円
現金及び現金同等物	929,660千円	848,882千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	50,787	10.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注)1株当たり配当金の額には、記念配当3円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	35,551	7.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

当社グループの事業は、産業用一般電子部品、電子機器の販売を行っており、事業区分としては、単一のセグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

当社グループの事業は、産業用一般電子部品、電子機器の販売を行っており、事業区分としては、単一のセグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	13円76銭	5円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	69,889	25,548
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	69,889	25,548
普通株式の期中平均株式数(株)	5,078,736	5,078,736

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社 栄 電 子
取締役会 御中

應和監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	澤	田	昌	宏	印
----------------	-------	---	---	---	---	---

指定社員 業務執行社員	公認会計士	澤	田	昌	輝	印
----------------	-------	---	---	---	---	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社栄電子の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社栄電子及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。